

# 桐生一馬伝説、最終章

「龍が如く」シリーズ最新ナンバリング始動

## 桐生一馬

演:黒田崇矢

『堂島の龍』と呼ばれる伝説の元極道で、現在は児童養護施設を営む。2012年に勃発した抗争の終結後に、自ら罪を清算するために服役。2016年に出所し、その間に姿を消した運の過去を追い広島・尾道仁涯町へと向かう。



シリーズ総合監督に訊く  
最終章に込めた想い

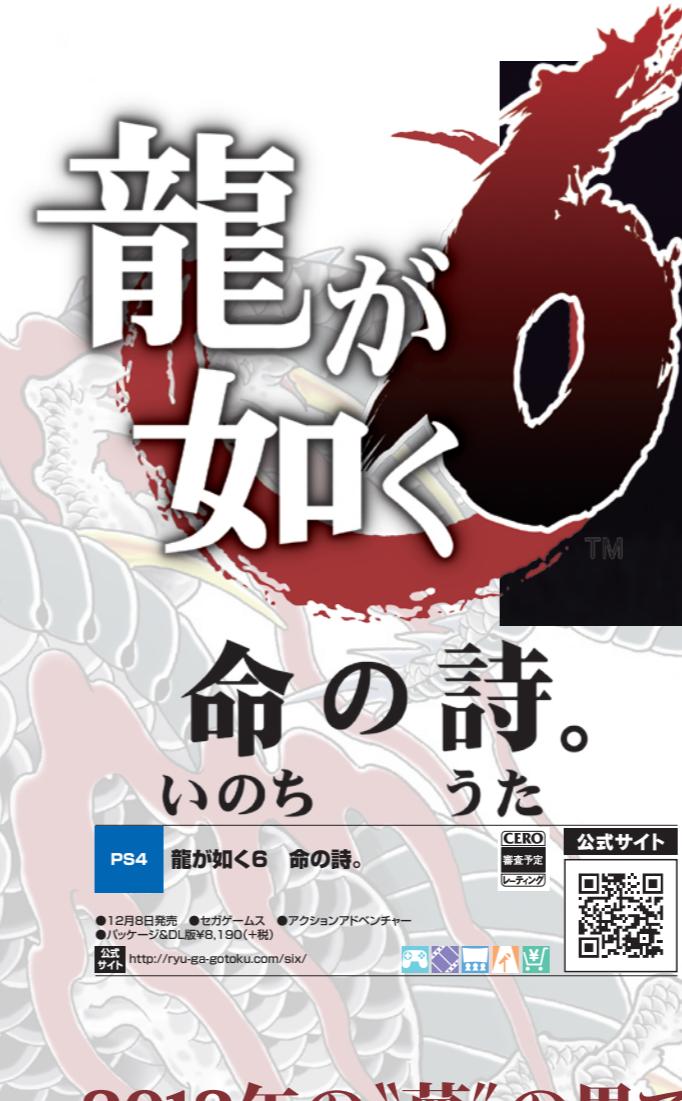
——桐生一馬伝説、最終章ということで、彼の物語が1つの区切りを迎えるですね。  
**名越:**『龍が如く』シリーズも長い長いタイトルになりましたが、どこかで区切ることはけっこう前から考えていました。とはいっても、桐生一馬の物語が最終章を迎えること、『龍が如く』シリーズが今後どうなるかは別軸の話になります。  
——サブタイトルの「命の詩。」は、いろいろ想像が膨らむ言葉ですね。  
**名越:**基本的にサブタイトルは一番最後に付けるのですが、決まってからそれに合わせてセリフを修正することもあります。今

作には「命」という言葉を入れる予定は早々にありました。テーマについては、シーケレットシアターの映像で、より深く、できれば正確に伝わってほしいと思います。  
——広島の尾道は初登場になりますが、名越:シリーズで初めて田舎町を舞台にしたのですが、このとき注意したのが地元の方から見て「なんか違う」と違和感を受けないようにすることでした。しっかりと取材を重ねて、街の風景だけでなく方言にもかなり気をつけています。役者のみなさんには、広島と尾道の方言指導を同時に受けいただき、指導員のどちらから指摘

さればやり直すという過酷な収録になりました。とくに、南雲剛役の宮迫博之さんはセリフが多かったので苦労されたと思います。そこまでやる必要があるのかと言われるかもしれないが、経験から“いい作品は見えない部分にもこだわりがある”といふのが、身に沁みてわかっていますから。  
——キャストといえば、ビートたけしさんの出演も大きな話題を呼びました。  
**名越:**ビートたけしさんは人を惹きつける魅力を持つ方ですし、一度はお願いしたいと思っていましたが、存在が大きすぎて交渉するまでには至らなかったんです。でも、

本作はPS4専用タイトルになります  
シリーの大きな区切りにもなり、心残りのないキャスティングをしたいという考え方から、お願いさせていただきました。  
——収録時の様子はいかがでしたか?  
**名越:**じつはビートたけしさんは昔からの知り合いなのですが、意外と体重の増減が激しい方なんですよ。映画に出演する際も数ヶ月前からダイエットされていましたが、今回の収録では1週間お酒は呑まずに挑ませてました。常に体調コントロールもきちんとされていて、役者としてのプロ意識の高さをあらためて感じましたね。  
——本作はPS4専用タイトルになります

「今まで1番極上な時間用意していますので、



2012年の“夢”的果て—空白の4年に生じた歪み



2012年の大抗争の果て。桐生は遙、そして沖縄で待つ養護施設の子どもたちとの暮らしを迎るために、ふたたび身を洗う決意をする。刑期は3年。だが、そのわずかな「空白の時間」が、彼らの人生の歯車を狂わせていく。

芸能界を引退し、沖縄での静かな暮らしを望んだ遙。しかし、マスクや心無い人からの好奇のまなざしは、児童養護施設の子どもたちへも及ぶ——。己の見通しの甘さを痛感し責任を感じた遙は、ひとり姿を消してしまう……。

2016年。刑期を終え遙の失踪を知った桐生は、彼女が事故に遭い意識不明となり、そして失踪中は広島にいたことを知る。「空白の時間に何があったのか?」……さまざま

な謎を追い、桐生は広島・尾道仁涯町へ足を踏み入れる。

心行くまで遊んでほしい

が、どんな驚きが体験できますか?  
**名越:**ビルや人がたくさん登場して、それらを精密に制御したうえでのシームレスというの、やはりPS4ならだと思います。また、バトルも進化しています。あらゆる動きを完璧にシミュレートしてすべての関節に反映されているので、敵と接触した距離と位置によってモーションが変わります。そういった小さい積み重ねが、ゲーム全体に響いてくると思っています。  
——『龍が如く6 命の詩。』に注目されている方へメッセージをお願いします。  
**名越:**既存ファンの方々は、これまでの桐



名越稔洋氏

株式会社セガゲームス取締役。『龍が如く』シリーズの総合監督として制作の指揮を執りつつ、イベントなどにも積極的に登場し、作品の顔として活躍中。

# 豪華キャスト陣が演じる キャラクター

遙の足取りを追い、広島・尾道仁涯町へと向かう桐生。その先々で、桐生は多くの人と出会い、そして交錯していく——。はたして、彼らとの出会いは桐生に何をもたらすのか。

不思議な魅力を持つ  
初老の極道

**広瀬徹**

演:ビートたけし

東城会、近江連合に並ぶ名門、広島・陽銘連合会。その直系舛添組に属する広瀬一家の総長。飄々とした人物だが、ユーモアがあり周囲からの人望は厚い。昔は武闘派として暴れ回ったそうそびいているが、眞偽の程は不明。



松永孝明  
演:ドロンズ石本

田頭直人  
演:細谷佳正

飯野和明  
演:檜山修之

松永と同じく、広瀬一家若衆の1人。見た目に似合わずマイペースで、時折空気を読まない発言をする。

尾道仁涯町の住人。広瀬一家若頭・南雲の幼なじみで、彼と同じく街のマドンナである笠原清美に想いを寄せる。



菅井克己  
演:中尾隆聖

巖見兵三  
演:津嘉山正種

小清水寛治  
演:谷田歩

舛添耕治  
演:高木涉

ビッグ・ロウ  
演:森田順平

ハン・ジュンギ  
演:中村悠一

尾道仁涯町の住人。広瀬一家若頭・南雲の幼なじみで、彼と同じく街のマドンナである笠原清美に想いを寄せる。

東城会本家相談役、直系菅井組組長。海外勢力流入の要因となった、神室町の大火事への関与も噂されている。

巖見造船を一代で築き上げた辣腕の紳士。その実権は息子に委ねているが、いまだ国政に届くほどの影響力を持つ。

陽銘連合会若頭で、会の実権を握る。並外れた頭脳と度量の持ち主だが、根底では強者との死闘を渴望している。

神室町・亜細亜街の大火事をきっかけに進出してきた中國系マフィアのボス。圧倒的支配力で組織をまとめる巨魁。

韓国系マフィア・ジングオ派の当代。一時は壊滅状態まで追い込まれたが、風俗産業で急速に勢力を増している。

寂れた街の若き極道

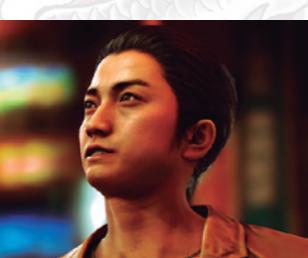
**宇佐美勇太**  
演:藤原竜也

寂れた尾道仁涯町ではどこか浮いた印象を与える、ごく普通の若者。幼なじみに誘われまま極道の世界に足を踏み入れ、広瀬一家の一員となる。友人とといえば一家の面々だけで、彼らとつるんで怠惰に過ごしている。



憂いを帯びた  
街のマドンナ  
**笠原清美**  
演:真木よう子

尾道仁涯町で小さなスナック“清美”を営む女性。どこか憂いを帯びた妙齢の女性で、若いころから街のマドンナ的存在。地元の男たちのあこがれの的で、広瀬一家若頭の南雲も彼女に恋い焦がれる男のひとり。



桐生と  
縁深き者たち

**秋山駿**  
演:山寺宏一

街金融を営む男。  
独自の審査を行い、  
融資相手の覚悟を  
問うという独自の  
流儀を持つ。



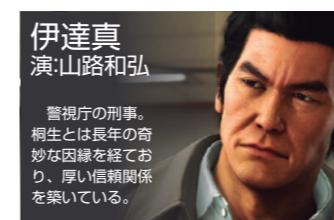
粗暴で不器用な  
田舎ヤクザ  
**南雲剛**  
演:宮迫博之

広瀬一家若頭。粗暴だが裏表のない、いわゆる田舎者のヤクザ。尾道仁涯町のスナック街を縄張りとしているが、シノギよりも焼れた女を守ることを選ぶ不器用な男。桐生に対して、なぜか敵意をむき出しにする。



伊達真  
演:山路和弘

警視庁の刑事。  
桐生とは長年の奇  
妙な因縁を経てお  
り、厚い信頼関係  
を築いている。



真島吾朗  
演:宇垣秀成

東城会舎弟頭兼  
直系真島組組長。  
これまで桐生と何  
度も拳を交えた宿  
命の相手。



広島に強い  
影響力を持つ  
実業家  
**巖見恒雄**  
演:大森南朋

世界有数の造船会社、巖見造船を父から引き継ぎ、取り仕切る実業家。造船業だけでなく、病院や学校、交通網など、さまざまな分野で事業を展開。そのコネクションの広さから、彼の影響力は絶大なものがある。



冴島大河  
演:小山力也

東城会直系冴島組組長で、真島とは兄弟分。2012年に勃発した抗争で、桐生と知り合う。



堂島大吾  
演:徳重聰

東城会現会長。  
桐生とは少年の頃  
からの知人で、立場  
を超えた兄弟ともい  
える関係。



東城会→  
陽銘連合会→

